

弓道いばらき

平成28年7月 第38号

発行所 取手市駒場1-22-31
茨城県弓道連盟
理事長 大峰 芳樹
電話 (0297-72-3245)
http://ibakyuren.com

平成二十八年度に向けて



茨城県弓道連盟 会長 久保田 清

今年の4月に熊本、大分で発生した未曾有の大地震に見舞われて、未だに行方不明の方や、避難所暮らしの方たち、家を失った方たちが大勢おられます。心の休まらない日々が続いており、一日も早い復興を祈らずにはいられません。

さて、さる5月28日、県弓連代議員会があり会長に再任されました。もとより微力ではありますが会員の皆様方のご協力を頂きながら任務を全うしたいと思えます。宜しくお願いたします。

昨年度より県武道館が変則的に使用制限されて、大会、審査、講習会等において支障をきたしている中、会員各位のご協力により、昨年度の行事も滞りなく終えることができました。ここに紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

平成27年度県外大会成績は、教職員大会参加者が関東大会で3位と4位入賞、全国大会では男子団体優勝と個人6位、女子個人優勝と活躍がみられました。関東選手権大会にお

いては、有段者の部、射技優秀賞、称号者の部3位、4位入賞。国体関東ブロック大会では成年男子、女子が通過し、本国体に出場しましたが上位成績は残せませんでした。今後、更なる活躍を期待したいと思います。

ここ3年にわたり県外大会の成績が振るわず、全弓連の年間ランキングも低迷している状況です。会員の皆様の更なる奮起、努力をして頑張っていたきたいと期待します。他方県外審査に目を向けてみますと、

錬士7名、教士1名、範士1名、六段5名、五段16名の合格者でした。範士は別として教士、錬士、六段は昨年度と同じくらいでしたが、五段は倍増して、しかも若い弓人が多くを占めています。若手の努力と受審挑戦を期待します。五段以上になると求められる事も厳格になり、また、二次審査、面接とあり射技はもとより体配、射礼等を充分把握、勉強しなないと審査員にアピールできないばかりか、パニックになる受審者が見受けられます。受審する以上は二

次、面接、合格までの勉強をして臨んでください。また的中するための稽古も重要です。自分の何処が悪くて？何処が良くて？の、繰り返しで自信を作り上げていくことが重要です。数多く普段経験できない、練習ではない意識、他人の目、賞品等に打ち勝つ自信を養う。自信は何よりのあがり対策になります。

審査の申込みについて、講習会受講歴記載欄が空欄の人が数人です。記載がないと審査では不利になる場合があります。伝達講習会、教士、錬士講習会等の受講をお願いいたします。今年度の努力目標は昨年同様ですが以下のように進めたいとおもいます。会員各位のご協力をお願い致します。

一、競技力の向上
3年後の茨城国体に向かって最大限の努力をしたいと思えます。ここ数年一般男女は関東ブロックを通過するも、本国体では成績が残せていない状況であります。弓道は練習では良かったが本番では？が当たり前の競技です。あと1本、あと1点の所で戦う競技です。練習では的中、点数で勝てるレベルには達していません。メンタル面が上位入賞チームに劣っているようです。今年からはメンタル強化を重要課題として取り

二、射法射技、体配の向上に努める
今年度の全弓連指導項目は弓道誌五月号に掲載されているように、正しい体配、射法射技は、基本体、基本動作から生まれるので、一朝一夕ではできないものですから会員各位の更なる努力を促したいと思います。

三、弓道人口の底辺拡大に務める
茨弓連の会員数はここ数年、多少の増減はあるがほぼ横ばい状態に留まっています。しかし高齢化が進み、このまま推移すると確実に減少の道を辿ってしまいます。対策としては、毎回お願いしていますが、毎年千人程度いる中高校生の卒業生が弓道を辞めてしまう状況、これを何とか弓道を楽しみ続けられるようになることを願うばかりです。OB会の充実と各種地方大会を通じ、一般会員とのコミュニケーションをはかり、卒業後に道場に通える環境を作りたいだけのように会員各位に努力をしていただきたいと思えます。

いろいろ述べましたが、大きな目標に向かって前進してください。皆様方のご発展、ご活躍を祈念いたします。

平成二十八年度に向けて



理事長 大峰 芳樹

平成27年度の理事会及び代議員会は、5月21日・28日に開催しました。ご出席いただいた役員・理事・代議員の方々には、ご多忙のところ誠にありがとうございました。お蔭さまをもちまして議案等につきまして全ての議決等をいただきました。

今回は、役員等の任期が満了となり、役員等候補者選考委員会を開催し会長及び監事の選考が行われました。同委員会からは会長及び監事について留任との選考があり、会長から次期役員等の発表がありました。新任役員等は、副会長の河須崎 恒氏から岩田 隆志氏、強化部長に竹之内 正宏氏から高木 勉氏、日立地区理事に竹之内 正宏氏から新山 晃一氏、水戸地区理事に小形 佳昭氏から萩沼 信子氏、土浦地区理事に助

川 忠雄氏から河合 徹氏、県南

地区理事に坪井 恒雄氏から菊地 祐太氏、高体連理事に本田 敦氏から佐久間 和彰氏、中体連理事に芝田 幸祐氏から篠崎 正博氏を選出し、残り留任との発表があり、また、総務企画委員会は、委員長に明間 勲氏、委員に白石 直之氏、荻原 裕一氏、山村 晋氏、中井川 一郎氏、柴原 一利

子氏の選任があり代議員会で承認されました。今後は、この布陣で茨城県弓道連盟の事業に邁進してまいりますので、会員の皆様方のご支援ご協力を賜りたいと思っております。また、茨城県弓道連盟の規約の改正では、本連盟から支出される年間手当てや日当の額を明確に表示したところです。平成28年度は、昨年同様、国体

が予定されており9月から年度末にかけては事業予定が入れられない状況の下、計画致しました。副会長、専門部長及び支部の役員等の皆様の努力により編成したところです。競技部の事業は、参加人数等により茨城県武道館の使用が前提になりますので昨年同様計画し、競技内容において春季大会では団体戦を削り、スムーズに運営できるように工夫しました。審査部では、県内審査と県外審査の受付を分け事務処理の効率化を図り、指導部では、武道館以外の道場について支部の方々のご協力により確保し、県武道館の改修工事

期間は別会場を使用して講習会の回数を維持するように計画しております。また、将来を見据えて公認講習会を実施し多くの会員が資格を取得できるように計画しております。強化部では諸団体からの補助金等の流れを明確にし、差し迫っている茨城県国体に向けての成果が十分に発揮できるよう稽古に精進しています。また、強化部や国体事務局(前国体準備委員会)では、国体に向けて茨城県等主催

の会議が頻繁に開催され、県の行政組織も改正するなど県を挙げての一大事業であり、他のスポーツ団体同様その運営や成果が問われております。施設の面では、昨年行われた近隣の場の日除けの設置や今年度の観客席などの工事、また、今年度施設改修予定の遠的施設についても仮の施設ですが十分に稽古できるように県に要望しています。

特に平成28年度は、茨城県弓道連盟として7月に学校指導者講習会、8月に全日本教職員弓道選手権大会、臨時中央審査、9月に東地域弓道選抜選手権大会、10月に連合審査を計画しており、多くの県外の弓道人が集まります。これらの大会等を滞りなく的確に運営していくためには、役員はじめ多くの部員を有する競技部や審査部などが一丸となって取り組まねばならないところです。この取り組みについても茨城県国体を見据え、その運営に資するものと考えております。身近な関東地域弓道選抜選手権大会では各地連から選手だけで100人が一堂に会し熱戦を

繰り広げますが宿泊ホテルなどの手配を含めスムーズな運営に心がけねばなりません。いざれにしても県外からの選手等に対しても確な運営を行い茨城の印象を良い方向にもっていきたいと願います。

なお、熊本地震では会員の皆様も御承知のとおり今年4月から地震が頻発している状況があり、多くの方々被災し、全日本弓道連盟として各地連への募金活動を促しているところですが、茨城県弓道連盟と致しましても各支部に対し募金をお願いしているところであります。皆様方のご賛同ご支援をお願いし、一刻も早く被災前の生活に復帰できますように、そして、弓道を通常通りに引くことができますようにお祈りするばかりです。



茨城国体に向けて



国体事務局長 森 昭夫

(一) はじめに

茨城国体があと3年後と迫ってきました。平成27年度の理事会に於いて国体準備委員会の名称を本年度から国体事務局と改めることとなり、代議員会に於いて了承されました。ギアが一段アップされたことになり、より一層の推進力を得、皆様方と力を合わせて国体成功に突き進んで行きたいと考えています。

(二) 施設改修

平成25年1月に行われた中央競技団体正規視察での指摘事項および県弓連が従前より問題にしていた点を是正すべく、何度か県と交渉を進めてきました。その結果、既に皆様ご承知の様に平成27年12月に近代的射場の西日遮光フェンスが完成しました。長年の希望が叶い、使い勝手が格段に向上し、かつて発生した県外からお越しの競

技人から「西日がまぶしい」という強い苦情は今後無いものと確信しています。

平成27年度は県の修繕費予算上、遮光フェンスのみの工事だけになってしまいました。今年2月に入って県の保健体育課から改修工事の見直し図面が提示されてきました。主な改修箇所として、①近代的射場に観覧席の屋根を設置(観覧席は階段状の仮設になります)して、雨天でも観覧可能にする。②遠的射場の大幅な改修工事(間口12mを16mに広げ、的場方向に6mに拡張し床面積を増やす)および長い間仮設だった場の恒久化です。

昨年と同じように武道館が半年間使用出来ないという不慣れた状況になりますが、以上をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

国体強化メンバーの遠的の練習・試合が出来なくなりますので、対策として自由広場側に臨時の遠的射場を設ける様、県側に要望しているところです。

(三) 国体視察

一昨年度の長崎国体に続き、昨年は和歌山国体に視察に出かけました。今後は岩手県・愛媛県・福井県と続く訳ですが、今年からは自家用車で出かける比較的近場の岩手県奥州市水沢区ということで、視察員の数を16名に増やすことを計画しました。競技部員が、主体となります。

競技日程及び競技運営方法の調査、競技役員等の編成及び審判・役員業務の調査、競技施設・練習会場・付帯施設・競技用具の視察・調査等が目的となります。前述した施設の改修が済んだ後は「仏作って魂入れず」にならないよう、スムーズかつ正確な競技運営が出来る視察員の選抜も大変重要になってきました。指名された視察員の方々にはご自分の仕事と共に県弓連のご事にも精力を出していただきたくお願いする次第です。

今年度から県より「開催準備活

(四) 終わりに

「動支援助事業費」として、15万円の補助金が出るようになりましたので、有効活用してまいります。

国体の開催時期が9月28日から10月8日までと決まりましたが、弓道競技日程は現時点で未定です。国体は土日の休日だけでなく平日も実施されます。このため現役組の若い世代が、競技役員として協力できないことも憂慮されます。よって、シニアの方々のお力を借りたいと考えています。代議員会でも各支部にご説明しましたが、役員を希望される方を募集しますので、自薦・他薦を問わず支部単位でお申し込みくださるようお願い致します。これを基に人材リストを作成します。締切日は設けません。

今年度から県より「開催準備活



連絡先 E-mail: jbjgn798@yahoo.co.jp、もしくはFacebook ミリ: 0299-26-10599 でお問い合わせ下さい。様式は問いませんが、支部名、氏名、段位、特技(パソコンが得意、写真が得意、アナウンスが得意など)を記載ください。但し、役職は県弓連からの指定になりますのでよろしくお願いたします。
【写真・完成した遮光フェンス。サイズは高さ10.5m×横42m】

専門部だより

指導部

部長 川瀬 政人



一期、2年を無事務めさせて戴きました。これも偏に講師の先生方、指導部役員、受講者各位のお蔭と感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと昨年度は県武道館の改修工事で9月以降は弓道場の利用が出来ず、例年は年2回開催していた三四段講習会、五段講習会、錬士講習会、教士講習会を一回に縮小し、更に錬士講習会、教士講習会を合同開催とさせて戴き会員皆様のご協力を得まして全講習会を計画どおり終了することができ、御礼申し上げます。昨年度「中央審査」では昇段・昇格者、範士1名、教士1名、六段5名、錬士7名の計14名の先生方が誕生されました。「連合審査」での昇段者は十六名と前年度比で7名も多い五段が誕生致しました。おめでとございます。

本年度は以前の講習会回数に戻し計画を立てましたが、昨年度で終了予定の県武道館改修工事が今年も続くため、止む無く土浦武道館、神栖武道館と関係支部の皆さんに道場使用の協力をお願いして全講習会を開催できる運びとなりました。会員の皆様には遠路の会場になりますがお卒ご理解と協力の程よろしくお願いいたします。

指導部としては講習会を通じて若干でも皆様の昇段、昇格の一助になればと努力する所存でございます。本年度指導部目標は、久保田会長が就任時に掲げました4つの目標を踏襲してまいりたいと思います。

一、競技会、講習会には積極的に参加し、より競技力の向上をはかる。
二、競技、審査とも日頃から基本通り、射法八節に則った射を目指す。

三、弓道人口の底辺拡大に務め、競技層の若返りをはかる。
四、射法、射技の理解を深め、体の配の向上を目指す。

【指導部からの連絡事項】
平成28年度指導方針は、「弓道教本及び副読本に基づいた基本の徹底」とあります。

「指導者の心得」として次の4つがあります。
一、日本弓道の指導者として、自ら至誠と礼節を体現し真善美を目指すこと。

二、指導者の持つ影響力を自覚し、自身の言動の倫理性について常に注意を払うこと。
三、指導に当たっては、自らが実践躬行すること。

四、指導に当たっては、弓道教本及び副読本に基づき全国的に統一された指導をおこなうこと。
「指導項目」として次の7つがあります。

一、基本体及び射法・射技の基本
二、矢羽の取り扱いと矢羽の使用に関する準則の徹底を図る
三、あらゆる暴力やハラスメントの根絶を図る
四、弓札・弓法問答集の改定箇所

説明
五、弓道競技規則の改定について周知を図る
六、審査規定の改定について周知を図る
七、アンチ・ドーピングについて

以上を周知実践するために今年五月に全日本弓道連盟より発行された「弓札・弓法問答集」(改訂版)を読んで修練されることをお勧めします。最近が高齢者が多くなり立射にて審査を受ける人も多くなりました。巻末には立射の作法が追加されておりますので是非熟読願います。

【お願い】
昨年の支部指導者講習会参加支部は37支部で伝達講習会報告書の提出は25支部でした。(内、合同開催は四支部)
今年もこの講習会に参加された支部は必ず各支部に持ち帰り伝達講習会を開催し報告書の提出にご協力をお願い致します。

最後に、会員皆様方が各講習会に多数参加と、会員皆様方のご活躍をお祈り申し上げます。

運営では関係支部長のお力添えを得て対応、結果全ての審査会は計画通り終了する事が出来ました。審査委員・審査部員始め審査に関わる皆様のご協力に紙面をお借りし御礼申し上げます。

さて、昨年度の県内審査会の実績を振り返ってみます。中高生審査会は4回にわたり、水戸・土浦・取手そして新たに「ひたちなか・東海村・カシマ」の各会場を加え合計6会場延べ14射場で行われました。受審者数は2505名。同じく一般審査会は3回実施、二会場三射場で293名の実績でした。両審査会受審者数の合計人数は2948名となります。中高生審査会だけを見ると、対前年比116名の増加でこの傾向は今後も続くと予測しております。又昨年度の運営実態は道場キャパ超え(一射場250人超)を余儀なくされた射場は数回発生しました。

審査会に携る全ての方々のご苦労に頭の下がる思いをし、同時に改善の必要性を感じました。変わらない環境下にある今年、更に気遣い怠りなく審査に集中出来るよう努めてまいります。

さて今年度を考えますと改修工

審査部

部長 和泉 武



昨年度は水戸武道館改修工事に伴う対応と云う大きな課題を抱えた年でありました。関係する先生方と共に代替会場の検討会を開始し、前年度と同数の射場確保に努めました。又新会場での会

運営では関係支部長のお力添えを得て対応、結果全ての審査会は計画通り終了する事が出来ました。審査委員・審査部員始め審査に関わる皆様のご協力に紙面をお借りし御礼申し上げます。

さて、昨年度の県内審査会の実績を振り返ってみます。中高生審査会は4回にわたり、水戸・土浦・取手そして新たに「ひたちなか・東海村・カシマ」の各会場を加え合計6会場延べ14射場で行われました。受審者数は2505名。同じく一般審査会は3回実施、二会場三射場で293名の実績でした。両審査会受審者数の合計人数は2948名となります。中高生審査会だけを見ると、対前年比116名の増加でこの傾向は今後も続くと予測しております。又昨年度の運営実態は道場キャパ超え(一射場250人超)を余儀なくされた射場は数回発生しました。審査会に携る全ての方々のご苦労に頭の下がる思いをし、同時に改善の必要性を感じました。変わらない環境下にある今年、更に気遣い怠りなく審査に集中出来るよう努めてまいります。

事は昨年引き続き計画されておりま
す。代替会場探しの経験がある
は云え、道場予約は難しい状況下
にありました。従来の公的会場と
は異なる「笠間高校」と新たに「神
栖武道館」を加え昨年並みの射場
数を確保しました。「昨年並みの
射場数の確保」は受審者数増加の
傾向を考慮すると今年も「一射場
250人超」の状況が続くことを
意味します。苦労覚悟の状況をご
理解下さいますようお願いを申し上
げます。来年度は水戸会場の通年
使用可により会場数確保は緩和さ
れます。しかし「一射場250人
超」の改善には何か手を打たなけ
ればならないと思います。今年度
は対費用と効果を見定め立案し、
次年度には具体的改善策を具現化
したいと考え次の2つをそのポイ
ントに致しました。

- ① 一射場当たり受審者数の平準
化による効率向上（一会場二
射場での中高生と一般審査の
区分別同時進行等）参考・5
月29日の中高生審査は二射場
で513名

一週間後の6月5日一般審査
は二射場使える状況で128
名でした。

② 安定的会場確保と最適且柔軟
な学校区分（公的施設に限定
しない 学校を会場の候補に
する）参考・今年10月16日笠
間高校で中高生審査を計画
この結果を参考にしたい。

以上の検討結果の実現は大きな
効果に繋がると思っています。しかし
審査部独自では不可能で会長始め
審査員の先生方、そして高体連・
学校の協力は不可欠です。関係の
皆様の協力を得て是非進めて行き
たいものです。

今年も審査運営に最大の努力を
傾注いたします。皆様のご協力を
お願い申し上げます。

審査部からのお知らせ

- 一、全日弓連より「審査規定の改
定・整備」に付いての通達が
ありその抜粋を各支部長宛て
に郵送しました。「七段審査
について」「中央審査におけ
る学科・面接問題について」
「立射の作法」「地方審査会・
連合審査会学科試験問題」等
です。（その他に今年度の県
内審査要項含む）
- 二、審査申込に関わる事務処理上
のお願い
中央・連合審査・他地連主催

の地方審査の申込に限り送付
先が変更されました。新たな
送り先は「審査部事務局 藤
代支部 菊地俊和先生」にな
りました。
県内審査は従来通り審査部事
務局「取手支部 新井重夫先
生」です。
お間違いないようにお願い致
します。

競技部

部長 小松 正幸



会長はじめ各
役員先生のご指
導と会員皆様の
ご協力により平

成27年度 競技部の事業は全て無
事終了することができました。紙面
をお借りしてお礼を申し上げます。

27年度の県連主催競技会は、武
道館改修工事の関係で大会数を減
少せざるを得ませんでした。

年度途中に急ぎよ新年射会と支部
対抗を追加することができました
が、春季大会、夏季錬成大会、段
位別大会は開催することができま
せんでした。

県選手権大会は競技要項が改定

され、これまで有段者、称号受有
者は別々の競技大会として行われ
ておりましたが、これを一つの大会
として予選大会と決勝大会に分
けて開催されました。決勝大会は
審査採点の後、坐射一手5回の競
射を行う方法で全日本選手権大会
に近い競技内容を採用しました、
今後全国大会などで成果が表れる
ことを期待します。

競技会の運営につきましては、
従来の地区当番制を改め、全て競
技部員により執り行つてまいりま
した。運営員は選手も兼ねている
ため一時運営の席を離れることに
なりますが、その支障が出ない様
に限られた競技部員の中で編成が
難しく苦労しました。

徐々にではありますが運営員の持
ち場を固定したことなどにより回
を重ねることにスムーズな運営が
できつつあると思えます、茨城国
体に向けて会員皆様のご支援もお
願いします。

さて、28年度においても残念な
がら現在のところ九月以降は工事
の関係で武道館が使用できない状
況となつており、競技会は昨年度
と全く同じ年間計画でのスタート
となりました、大会は減少してし

- ① 競技会の申し込みは、「参加申
し込み」と「参加料振り込み」
どちらも20日前締め切りです。
受付、参加料振り込み確認、
プログラム作成などの業務の
関係上期限を過ぎては受け付
けられませんので十分注意し
て余裕をもってお申し込みく
ださい。
- ② 控室は静かにお願いします。
毎回注意されておりますが守
られておりません、控え選手

まいりますがより多くのご参加をよ
ろしくお願い致します。
今年度も春季大会は開催できま
せんでしたが、代議員会議で承認
されましたように次回から春季大
会の競技要項が改定されます。春
季大会は競技内容が大変豊富であ
り、多くの参加者があります、そ
の結果、決勝に多くの時間を要し
ており、混乱することもありまし
た。少し簡素化したとの提案が
あり団体の部を廃止することにな
りました。春季大会は長い伝統が
あり団体戦が消えるのはさみしい
との声も聞かれましたが、夏季錬
成大会と支部対抗の団体戦もあり
ますのでご理解をお願いします。
最後にお願いを申し上げます。

なく進行できるように協力していきたいと思えます。そして平成27年度より2019年開催の茨城国体に向けて競技運営についても、昨年の5月より、従来の各地区役員での運営から競技役員での運営になり、競技運営が滞りなく進行できるように取り組みをしています。我々施設役員も競技運営に支障のないように協力していきますのでよろしくお願ひします。

地区だより

日立地区

日製(日立)支部 新山 晃一

6月10～12日に愛媛県松山市において、第63回全日本勤労者弓道選手権大会が行なわれました。これは翌年に開催される国体のリハーサル大会としても位置づけられており、日弓連が主催する全国大会の中でも数少ない団体戦となります。同一の官公庁・会社に所属する者を対象とし3人1チームの構成で、各地連から選抜された代表チームで競技を行います。茨城県でも3月に県予選が行なわ

れ、県代表を担う出場枠2つを見事、私たちが所属する日立製作所が勝ち取ることができ、2チームで全国大会へ出場することとなりました。県予選後、メンバー揃ったの練習時間がなかなか取れないながらも、各自が調整しながら、本戦が行なわれる6月に向けて練習に励んできました。

チーム12射(各自4射1回)にて、的中数の上位16チームを決めます。Aチームは、予選通過ラインを越えて、見事決勝トーナメントへ進むことが出来ました。

大会は3日間にわたって行なわれ、初日は公開練習と開会式、2日目に一次予選、3日目に二次予選と決勝トーナメント、閉会式となり、今年各地から83チームが出場しました。初日の公開練習では、立ちの練習が可能なため、射場の雰囲気などを事前に確認することが出来ます。開会式では、柴田日弓連会長による挨拶から始まり、各チームが紹介され、代表選手による選手宣誓が行なわれました。2日目は一次予選として、1チーム12射(各自4射1回)にて、7中以上が二次予選進出となります。私が所属するBチームは残念ながら、もう一つのAチームは、無事一次予選を通過することができました。3日目の二次予選は、一次予選を通過した32チームから、1

決勝トーナメントは、予選通過チームの代表者による抽選を行い、対戦相手が決まります。トーナメントまで勝ち進んできた強豪チームなので、どこに当たっても気の抜けない試合になります。予選同様に1チーム12射にて、的中数で勝敗を決め、同中の場合一本競射となります。決勝トーナメントの1回戦では同中競射の末勝ち残り、2回戦も勝負強さを見せて勝利しました。準決勝では惜しくも敗れてしまいましたが、その後の順位決定戦では、一手競射にて見事勝利し、全国第3位入賞という成績を納めることができました。全国各地から集った選手たちの射技を見て、試合における勝負強さを見せつけられ、改めて弓道の厳しさ・楽しさを知ることができました。職場含め、たくさんの方々に支えられて出場した大会で、全国3位という結果を残せたことは大変喜ばしいことです。来年は私自身が結果を残せるよう

水戸地区

殿山弓道会支部 萩沼 信子

水戸地区は、水戸支部をはじめ16の支部から構成されております。毎年3月には、武道館を会場に観梅射会が開催されております。今から50年余り前でしょうか？常盤神社の境内で観梅射会を開催していたのが起源かと思えます。今年も3月13日に高校生参加者295名、一般参加者220名により盛大に開催されました。参加賞は、毎年大きなドラ焼きです。甘党の人には楽しみの一つです。競技は四ツ矢一回、賞品は水戸で有名な藁筒入りの納豆です。皆中で納豆5本、3中で3本、2中で1本です。その他皆中賞の方には優勝決定戦もあり、各賞状が贈られます。3月、まだ少し寒いけれど楽しい一日を過ごすことができました。次に毎年六月に実施されます、ひたちなか市近郊射会について述べてみたいと思います。近郊射会は、湊支部が中心になって開催されており、これまで那珂湊支部として活躍していた頃からの

日々精進していきたいと思えます。行事で、故矢吹範士が始められたものでした。特に余興として行われるカツオの1本釣りは楽しみです。的は、鯉をかたどった的です。矢吹先生の鯉の絵は大変上手で、定評がありました。何といっても、賞品の生カツオ1本に魅力があり、多くの方々が参加されてきました。鯉は、漁の良し悪し、また環境に左右されますので開催される方々のご苦勞には感謝です。旧那珂湊支部から受け継いだ近郊射会、これからも長く続けていって欲しいと思います。

ひたちなか市近郊親善射会は、今年も6月25日にひたちなか市総合運動公園内の弓道場で開催されました。

以上、水戸地区で開催されている大会について述べてみました。皆々様のますますのご精進とご活躍をご祈念いたします。

石岡地区

美野里支部 萩原 裕一

石岡地区の原稿は、各支部長に活動報告や写真提供をお願いしてまとめています。

石岡支部は30名で、第16回石岡



市親善武道大会弓道の部を主催しています。月例射会、30射会、花見射会、芹澤杯、古稀・傘寿祝賀射会を実施、8月～10月に弓道教室を開催して、35期263名の卒業生を輩出しています。フランス人留学生に日本武道の体験の一環として、昨年は7名に指導しました。帰国後フランスの弓道連盟を訪ねる方もいました。昼間の活動が主体のため、若い会員の獲得が悩みです。通常の稽古は3人立ちの芹澤記念弓道場で、伝達講習や審査前には、八郷運動公園石岡市弓道場で、5人立ちや持ち的・一つの射礼の稽古もしています。

美野里支部は男女各5名の計10名で若い2名の入会があり喜んでいきます。納射会が主たる行事で、月例射会は参加人数の關係で休会状態です。仕事等の都合や肩等の故障でリハビリ中で全員揃っての練習がなかなかできないのが悩みです。玉里酔心館支部は10名で、27年度から小美玉市体育協会の弓道部として加入しました。市のホームページと支部のホームページがリンクしてありますのでご覧ください。玉里酔心館は須田勝先生が個人で建設した道場で、高浜の嚙子連の練習場としても開放しています。昨年11月29日に創立30周年記念射会を開催し、館長矢渡し、一つの射礼、射会、余興の後、祝賀会で親交を温めました。須田館長の志に報いるためにもなお一層の成果を出したいものです。

桐弓会支部は、男女各3名で、石岡市親善大会に弓道場を貸し出しています。納射会と射初会を石岡商業高校生と一緒にしています。活動場所の石岡商業高校生が準会員として若々しい元気の良い射を見せてられています。仕事の都合で一同が集まれないのが悩みです。八郷支部は、昨年より1名増の60代男性四名です。活動が低調なので活発になるように工夫しています。

鹿行地区

波崎支部 小沼 勝則

波崎支部は神栖市の東南に位置する波崎地区に活動の拠点となる道場があります。茨城県の最東南端で鹿島灘と利根川に挟まれた温暖な所で近年はスポーツ合宿で全国的に名の知れるようになりました。弓道については、歴史は新しい方で、他支部のように伝統はあまりなく、昭和40年代頃に職域の弓道愛好家のみなさんにより初代道場ができました。その後、鹿島コンビナートや波崎工業団地での操業企業の弓道班のみなさまの努力があつて当時の町の弓道教室や大会が開催されるようになりました。

地区には高等学校が2校ありますが、これまでは弓道部はなく会員確保の課題になっていましたが、今年から近隣の高校で弓道部活動が始まるという明るい話題があり、今後の進展に期待しています。

現在、会員数は10名程度で推移し、平成20年3月に新道場が完成し、立射4人立ちの小さな道場ですが、和気あいあいと活動しています。27年度には支部員の活躍で支部対抗戦に10年ぶり2度目の優勝をしました。

これからも茨城県弓道連盟と鹿行地区の弓道振興の一助となれるように会員一同努力してまいります。



土浦支部の最大の行事は土浦市体協弓道部の一員として4月第1土曜日と日曜日の2日間にわたって行われる「土浦桜まつり弓道大会」です。今年で52回を数え学生の部371名、一般の部237名の参加をして頂きました。県内各地からの多数の参加にお礼を申し上げます。支部の活動は練習日として火曜日、金曜日の午前部と夜の部があります。また月例会として第2土曜日午前中は射法研修、午後は競技を行います。月例会の矢渡しは会員から順次選ばれますが特に介添えの作法について研修をしています。新年射会は参加者全員が賞品を持ち寄ります。福袋を引いたような楽しい射会です。2月には節分射会、金的や板割などの余興的を楽しんでいます。

今年で52回を数え学生の部371名、一般の部237名の参加をして頂きました。県内各地からの多数の参加にお礼を申し上げます。支部の活動は練習日として火曜日、金曜日の午前部と夜の部があります。また月例会として第2土曜日午前中は射法研修、午後は競技を行います。月例会の矢渡しは会員から順次選ばれますが特に介添えの作法について研修をしています。新年射会は参加者全員が賞品を持ち寄ります。福袋を引いたような楽しい射会です。2月には節分射会、金的や板割などの余興的を楽しんでいます。

ホームページ「ようこそ土浦弓道会」に活動の様子を載せています。ホームページを見た人や弓道教室の開催から新入会員が増えていきます。

また練成会として柴田猛先生のご指導を頂いています。支部会員は60余名、各自の目標を持ち競技会や審査を受け、結果を残してい

土浦地区

阿見支部 河合 徹

土浦地区の近況を紹介いたします。今回投稿を頂いた支部は土浦支部、土浦亀城支部、新治支部、阿見支部、つくば市支部です。

また練成会として柴田猛先生のご指導を頂いています。支部会員は60余名、各自の目標を持ち競技会や審査を受け、結果を残してい



ます。これからも会員同志和やかに楽しい弓道を目指して活動したいと思います。

土浦亀城支部は年間行事の一環として、27年度は長野県小諸市への一泊研修旅行を行いました。昼食は名物の日本そばに舌ずつみをうち、午後は懐古園（小諸城址）内の弓道場で小諸弓道会の方々の世話になり、紅葉鮮やかな中、稽古に励みました。的中すると多くの見学者から拍手が沸き起こり、なぜか緊張してしまいました。翌日は地元ボランティアの方の案内で懐古園内の見学を行う等、会員同士の親睦も一層深まった研修旅行になりました。

新治支部の練習内容の紹介です。95歳になられた国谷先生の指導のもと、15名の部員が練習に励んでおります。神拝のあと国谷先生の作詞による「弓道は心技体を丹田磐石の息合いで的心に濃縮結晶させ、心身弓、三位一体均衡の美を五重十字に具現する気迫の芸道である。」と言う詩を全員で朗読

し練習が始まります。審査の間合により射話をし、次に四矢にて競技の間合、立射7回、座射1回の合計32射を行います。的中数により次回の順番が決まります。お互いを注意し合いながら、楽しく練習に励んでいます。

阿見支部の近況です。

平年の通り平素の稽古を月水金の午前中と土日の午後に行っています。稽古場としては阿見中学校の弓道場を使用しています。稽古の他には春季大会、納射会、伝達講習会などを行うと共に6月には阿見町立中学校3校による阿見町中学校弓道大会も行っています。

平成28年春には新たに3名の会員を迎えると共に悲願の教士も誕生、阿見支部は更に活気づいて参りました。

つくば市支部は、つくば市近隣

に在住する社会人を中心として構成されています。当支部は「桜一射会」という名称でも活動しており、筑波大学達矢弓道場を拠点として、松尾牧則先生に師事しております。

会員は高校・大学時代に弓を引いていた経験者のほか、筑波大学の弓道公開講座にて弓を始めた初心者も多く、様々な層が和気あいあいと自由な雰囲気でも活動しています。また、会員の多くが日置流印西派の射術を学んでいることも、当会の大きな特徴となっています。

稽古は土・日・祝日の午後をメインに行っており、月に一度の例会をはじめとした各種イベントにも多くの会員が参加しています。県連主催の大会のほか、近隣市町村や県外の大会にも積極的に参加する会員もおり、会員同士で切磋琢磨する姿も見られます。

弓道を始めたばかりの初心者でも気軽に入室できるという当会の雰囲気を活かし、弓道人口の拡大に努めていきたいと思っております。

県西地区

筑西五所宮支部 河内 史彦

筑西五所宮支部は、筑西市に事

業所の一つを有する日立化成株の敷地内「五櫻館」で活動しています。ここ数年、社内の在籍者が減少してしまつた事情のため、昨年度より日立化成支部から筑西五所宮支部へと支部名を変更しました。

私は、約2年半前に日立市からつくば市へと異動になりました。機に当支部へ所属しています。弓道場を所有している企業は数少ないと思いますが、そのような会社に入社することができ、現在、その道場を中心に活動していることも何かの縁と感じています。

現在、支部所属人数は7名です。東日本の震災後は、施設管理の都合上、9時〜17時までと道場の使用時間が限られています。毎週土曜日の午後を定期的な活動としておりますが、中嶋鉄郎教士六段のご指導のもと、基本的には各々自分のペースで稽古に励んでいます。近年では、一般審査や連合審査での昇段や、全日本選手権出場等、少ない人数、限られた練習時間の中でも成果を出し、各人が目標に向かって活動しています。

私は、休日は五櫻館で練習していますが、時間に余裕がある時の平日夜間は、下館支部の道場にも

お世話になっていきます。いつも温かく迎え入れてくださる下館支部の方々には、非常に感謝しています。弓を通じて知り合いが増えていくことも楽しく、同時に色々なことを学ばせてもらっています。

五櫻館は、道場こそ企業の敷地内ではありますが、当支部及び道場は、会社専用のものではありません。五櫻館は、建設当時の3代目社長 横山亮次先生が「県西地区における弓道普及」の思いも込めて建てられたものです。また、道場横には桜並木が続いており、春は美しい桜吹雪の中で弓を引くことのできる趣深い道場でもあります。当支部への入会等ご希望の方がおられましたらご一報下さい。



会議報告

県外

- 関東地域弓道連盟連合会会議
(東京都 H27/4/7 久保田)
- 関東地域評議員会議
(東京都 H27/6/4 久保田)
- 関東地域弓道連盟連合会会議
(千葉 H27/9/12 久保田)
- 全国地連会長会議
(東京都 H27/12/3 久保田)

県内

- 総務企画委員会
(武道館 H27/11/17)
- 専門部長会議
(武道館 H28/2/14)
- 臨時理事会
(武道館 H28/2/28)
- 理事会
(武道館 H28/5/21)
- 代議員会
(茨城県職業人材育成センター H28/5/28)

研修事業報告

県外

- (関東北)
地区指導者講習会
(前橋市 H27/6/6~7)
中井川 一郎、柴原 一利子、
林田 國洋、中嶋 鉄郎、
米山 良美

県内

- (関東北)
地区指導者育成講習会
(埼玉市 H27/6/6~7)
辻 尚宏、石塚 美志、
幕内 雄基、上田 有香、
中根 奈津美
- 中央研修会
(東京都 H27/10/9~11)
川瀬 政人
- 講師審査委員研修会
(H27/4/12 水戸 37名)
- 三四段講習会
(H27/7/4 水戸 70名)
- 錬士・教士講習会
(H27/7/25 水戸 70名)
- 五段講習会
(H27/8/1 水戸 50名)
- 支部指導者講習会
(H27/6/27 水戸 48名)
- 教職員指導者講習会
(H27/9/5 土浦 18名)
- 高校審判員講習会
(H27/7/18 水戸 109名)
- 述べ参加者数 402名

県外大会 一般

- 第62回全日本勤労者弓道選手権大会
(岩手県奥州市 H27/5/29~31)
・日立製作所茨城A
(森賞 裕人、富樫 至、新山 晃一)
・日立製作所茨城B

第53回関東教職員弓道大会

(宇都宮 H27/7/5)

- ・有段者の部
射技優秀賞 橋本 真樹
- ・称号者の部
3位 正根寺 洋
- ・男子の部
4位 菊地 俊和

第46回全日本教職員弓道選手権大会

(鹿児島 H27/8/21~22)

- ・男子団体の部
優勝 茨城D
(唐澤 章、染谷 学、辻 尚宏)
- ・男子個人の部
6位 染谷 学
- ・女子個人の部
優勝 大金 喜代子

第70回国民体育大会

関東ブロック大会
(上尾市 H27/8/23)

- ・少年男子
近の 4位、遠的 4位、
総合 4位
- ・少年女子
近の 4位、遠的 4位、
総合 4位

(千葉 H27/9/13)

- ・有段者の部
射技優秀賞 橋本 真樹
- ・称号者の部
3位 正根寺 洋
- ・男子の部
4位 菊地 俊和

第66回全日本男子弓道選手権大会

(天皇杯)
(伊勢市 H27/9/18~20)

- ・小松 正幸、米山 良美
- 第48回全日本女子弓道選手権大会
(皇后杯)
(伊勢市 H27/9/20~22)
- ・石井 幸子、石井 和子

第70回国民体育大会

(和歌山県田辺市 H27/9/27~30)

- ・成年男子
(久保田 亮、尾吹 将大、山口純)
- ・成年女子
(中根 奈津美、上田 有香、
石井 幸子)

第28回ねりんピック山口大会

(下関市 H27/10/17~19)

- ・船越 忠、唐澤 叔莊、
山次禎治郎、萩野谷綾子、
川瀬 政人、鈴木正太郎、
久保 喜雄、村上 美保

第66回全日本弓道遠的選手権大会

(中央 H27/10/16~18)

- ・男子の部(平戸 信行、石田 昌嗣)
- ・女子の部(柴原 一利子、黒澤 智子)

平成27年度 明治神宮奉納全国弓道大会

(中央 H27/11/3)

- ・有段者の部
5位 中根 奈津美 (五段)
- ・称号者の部
10位 柴原 一利子(教士七段)

第18回全日本官庁弓道大会

(中央 H27/11/21)

- ・団体の部
敢闘賞
日本原子力研究開発機構C
- ・個人の部
準優勝 平根 信彦
(日本原子力研究開発機構)

第43回全自衛隊弓道大会

(中央 H27/12/6)

- ・隊友の部
優勝 杉山 義光
- 6位 萩野谷 綾子

県外大会 高体連

第59回関東高等学校弓道大会

(埼玉県 H27/6/5~7)

- ・男子団体の部
予選通過
清真学園高等学校
- 予選敗退
水戸工業高等学校
佐竹高等学校
- ・男子個人の部
江戸崎総合高等学校

水戸工業高等学校

- ・男子個人の部
2位 大山 透(水戸工業高)
- 3位 關根 祐也(佐竹高)

・女子団体の部
予選通過

佐和高等学校

清真学園高等学校

予選敗退

水海道第一高等学校

下館第一高等学校

第60回全国高校弓道大会

(東京都 H27/8/7~10)

・男子団体の部

3位 清真学園高等学校

・女子団体の部

予選敗退

水戸桜ノ牧高等学校

第70回国民体育大会

(埼玉県 H27/8/22~23)

・少年男子

近的 4位、遠的 4位、

総合 4位(不通過)

・少年女子

近的 4位、遠的 4位、

総合 4位(不通過)

第34回関東高等学校

弓道個人選手権選抜大会

(東京都 H27/9/12~13)

第34回全国高等学校弓道選抜大会

(栃木県 H27/12/24~26)

・男子団体の部

予選敗退 清真学園高等学校

・女子団体の部

予選敗退 水城高等学校

第15回東日本高等学校弓道大会

(宮城県 H28/3/19~21)

優勝 清真学園

5人制女子の部

第3位 水戸第二

3人制男子の部

優勝 清真学園

県外大会 中体連

第13回全国中学生弓道大会

(中央 H27/8/21~23)

・男子団体の部

第5位 清真学園中学

連盟後援行事

土浦桜祭り大会

(土浦 H27/4/3~4)

鹿島神宮弓道大会

(鹿島 H27/4/29)

あやめ祭弓道大会

(潮来 H27/6/14)

県西弓道大会

(下館 H28/1/11)

水戸市民体育祭弓道大会

(水戸 H27/8/2)

女子大会

(ひたちなか H27/11/8)

村松山弓道大会

(東海村 H27/4/5)

神栖弓道大会

(神栖 H27/5/10)

県南弓道大会

(取手 H27/10/18)

観梅弓道大会

(水戸 H27/3/13)

行方市弓道大会

(行方市 H27/10/25)

ねりんピック予選会

(水戸 H28/3/7)

茨城県弓道連盟主催(主管)県内大会結果

勤労者予選会

H27/3/8

団体戦

優勝 日製(日立) A

準優勝 日製(日立) B

個人戦

優勝 久保田 亮

準優勝 竹之内正宏

第3位 諸橋 昭

選手権決勝大会

H27/5/30

有段者男子の部

最高得点賞 山次禎治郎

尾吹 将大

優勝 久保田 亮

準優勝 橋本 真樹

第3位 山次禎治郎

有段者女子の部

最高得点賞 中根奈津美

小林 美環

優勝 中根奈津美

準優勝 宮田はるみ

第3位 石田 祥子

称号者男子の部

最高得点賞 小松 正幸

米山 良美

優勝 菊地 俊和

準優勝 正根寺 洋

第3位 境 貴洋

称号者女子の部

最高得点賞 石井 幸子

市毛 道子

優勝 石井 幸子

準優勝 石井 和子

第3位 紫村トク子

天皇杯

派遣候補選手 小松 正幸

米山 良美

補欠 林田 國洋

皇后杯

派遣候補選手 石井 幸子

石井 和子

補欠 柴原一利子

関東選手権有段

派遣候補選手 久保田 亮

橋本 真樹

山次禎治郎

中根奈津美

木村孝太郎

宮田はるみ

清水 慶一

関東選手権称号

派遣候補選手 正根寺 洋

菊地 俊和

補欠

石井 幸子

境 貴洋

石井 和子

紫村トク子

稲葉健次郎

県民総体

H27/6/21

男子三段以下

優勝 高本 祐一

準優勝 平根 伸彦

第3位 福岡 遼馬

男子四段以上

優勝 山口 純

準優勝 稲見 真人

第3位 尾吹 将大

女子三段以下

優勝 渋谷 敬子

準優勝 根本 汐織

第3位 永久保涼子

女子四段以上

優勝 中根奈津美

準優勝 小林とし枝

第3位 山北 瀬那

称号受有者

優勝 境 貴洋

準優勝 福地 平

第3位 高木 勉

遠的大会

H27/7/26

男四段以下

優勝 大森 陽平

準優勝 福岡 遼馬
第3位 久保田 亮

▼男五段以上

優勝 平戸 信行

準優勝 尾吹 将大

第3位 山口 純

▼女四段以下

優勝 杉山 泉

準優勝 相原 利恵

第3位 鈴木 佳世

▼女五段以上

優勝 柴原一 利子

準優勝 黒澤 智子

第3位 石井 和子

中野杯

H 27/8/30

▼男子の部

優勝 山口 純

準優勝 畑 諒祐

第3位 木元 雄太

▼女子の部

優勝 上馬 英子

準優勝 市毛 文絵

第3位 宮下 文子

▼称号受有者

優勝 福地 平

準優勝 梶 直子

第3位 塚田 哲也

新年射会

H 28/1/17

▼三段以下男子

準優勝 つくば

(平須賀、遠藤、諸橋)

射詰優勝 矢崎 一男

優勝 畑 諒祐

準優勝 高本 祐一

第3位 矢崎 一男

▼三段以下女子

優勝 山田由希子

準優勝 金子 清美

第3位 関 深雪

▼四・五段男子

射詰優勝 久保田 亮

優勝 山口 純

準優勝 久保田 亮

第3位 稲見 真人

▼四・五段女子

優勝 中根奈津美

準優勝 古田土百合子

第3位 相原 利恵

▼称号受有者男子

射詰優勝 小松 正幸

優勝 高木 勉

準優勝 小堀 富男

第3位 菊地 俊和

▼称号受有者女子

優勝 萩野谷綾子

準優勝 市毛 道子

第3位 上田 有香

支部對抗

H 28/2/14

3人立団体戦

優勝 波崎

準優勝 つくば

第3位 (山田、松川、石塚)
取手B

第3位 (大峰、和泉、明間)
稲敷市

(相原、増尾、畑)

ネンリン予選

H 28/3/7

▼選手候補

寺本 貞光、越川 春江、

佐藤 至學、矢崎 一男、

高橋 政行

監督/交代選手

根本 信哉、大友 実、

沖田 紀子

勤労者予選会

H 28/3/20

▼団体戦

優勝 日製(日立) C

準優勝 日製(日立) B

▼個人戦

優勝 福地 平

準優勝 新山 晃一

第3位 尾吹 将大

茨城真教職員弓道連盟県内大会結果

春季大会

H 27/5/30

▼男子の部

優勝 染谷 学

準優勝 後藤 裕一

第3位 辻 尚宏

女子の部

優勝 境 怜美

準優勝 大川都志子

第3位 福岡 聖美

総合の部

優勝 染谷 学

秋季大会

H 27/11/21

▼男子の部

優勝 染谷 学

準優勝 青柳 優

第3位 信戸 修一

▼女子の部

優勝 大川都志子

準優勝 大金喜代子

▼総合の部

優勝 染谷 学

高体連県内大会結果

春季大会 兼 関東大会県予選

H 27/5/8 (女子)

H 27/5/9 (男子)

▼男子団体

優勝 佐竹

準優勝 清真学園 A

第3位 江戸崎総合

▼女子団体

優勝 清真学園

準優勝 水海道一 A

第3位 佐和

男子個人

優勝 埴 大和

準優勝 村松 真

第3位 關根 祐也

▼女子個人

優勝 岡野くるみ

準優勝 宮谷基理子

第3位 住吉真里奈

高校総体予選 県民総体予選

全国総体予選 国体茨城大会

H 27/6/12・13・15

▼男子団体

優勝 清真学園

準優勝 水戸工業

第3位 鹿島

▼女子団体

優勝 水戸桜ノ牧

準優勝 太田第一

第3位 下館第一

▼男子個人

優勝 林 雄代

準優勝 池田 朋矢

第3位 菊池 凜

▼女子個人

優勝 鈴木 優花

準優勝 吉井 有彩

第3位 富岡茉莉藻

国体選手選考会

H 27/6/20 (1次)

H 27/6/24 (2次)

男子の部

候補選手 菊池 凜

塙 大和

権名 優斗

監督 佐久間和彰

女子の部

候補選手 木塚 梨渚

宮谷基理子

岡野くるみ

監督 松崎 稔昌

県個人選手権兼
関東個人選手権県予選会

H27/8/18 (女子)

H27/8/19 (男子)

男子総合

優勝 塙 大和

準優勝 矢屏 周作

第3位 権名 優斗

女子総合

優勝 木塚 梨渚

準優勝 富岡茉莉藻

第3位 富岡茉莉藻

男子1年

優勝 佐久間隆広

準優勝 関 優太

第3位 山口 龍馬

女子1年

優勝 木塚 梨渚

準優勝 瀧澤なつみ

第3位 宮谷基理子

H27/9/15

中野優勝旗大会

男子団体

優勝 水城

準優勝 鹿島

第3位 藤代

女子団体

優勝 土浦日大

準優勝 取手第一

第3位 土浦第三

男子個人

優勝 渡辺 大貴

準優勝 大賀 宥介

第3位 植田 智

女子個人

優勝 中村 由菜

準優勝 石井夕貴美

第3位 富岡茉莉藻

新人大会兼全国選抜予選

H27/11/11 (女子)

H27/11/12 (男子)

男子団体

優勝 清真学園B

準優勝 清真学園A

第3位 佐竹

女子団体

優勝 水城

準優勝 佐和

第3位 牛久

男子個人

優勝 菊池 凜

準優勝 鈴木 海都

第3位 宮川 晃弥

優勝 瀧澤なつみ

準優勝 富岡茉莉藻

第3位 木塚 梨渚

県高校弓道冬季大会

H28/1/30 (女子)

H28/1/31 (男子)

男子団体

優勝 清真学園

準優勝 取手第一

第3位 水戸工業

女子団体

優勝 水戸第二

準優勝 土浦日大

第3位 土浦第二

男子個人

優勝 關根 祐也

準優勝 菊池 凜

第3位 高橋孝太郎

女子個人

優勝 小林 愛可

準優勝 片岡 紀佳

第3位 中村 由菜

中体連県内大会結果

H27/7/24

男子団体

優勝 清真学園

準優勝 水戸第二

第3位 土浦第三

女子団体

優勝 東海南

準優勝 清真学園

第3位 猿島

男子個人

優勝 小関 (清真学園)

準優勝 越川 (清真学園)

第3位 金井 (清真学園)

女子個人

優勝 後藤 (東海南)

準優勝 青柳 (東海南)

第3位 仲澤 (清真学園)

中野優勝旗大会

H27/8/4

男子団体

優勝 清真学園A

準優勝 東海南A

第3位 清真学園D

第3位 東海南E

女子団体

優勝 清真学園A

準優勝 土浦第一C

第3位 水戸第二A

第3位 土浦第一G

男子個人

優勝 小玉 (東海南)

準優勝 金井 (清真学園)

第3位 久保木 (清真学園)

女子個人

優勝 鈴木 (城西)

準優勝 大西 (土浦第一)

第3位 丸岡 (水戸第二)

県新人大会

H27/11/5

男子団体

優勝 東海南

準優勝 土浦第三

第3位 千波

女子団体

優勝 清真学園

準優勝 土浦第一

第3位 東海南

男子個人

優勝 田谷 (内原)

準優勝 伊藤 (千波)

第3位 中野 (東海南)

女子個人

優勝 萩原 (東海南)

準優勝 大西 (土浦第一)

第3位 上坊 (清真学園)

武道フェスティバル

H28/2/11

男子の部

優勝 小玉 (東海南)

準優勝 中根 (内原)

第3位 刈谷 (土浦第二)

女子の部

優勝 鈴木 (清真学園)

準優勝 高菜 (土浦第一)

第3位 橘川 (城西)

平成27年度 中央(臨時)審査会 合格者

No	取得	氏名	所属	取得日	審査場所	審査合計	区分計
1	範士	橋本 眞也	水戸	H27. 5. 8	平成27年度推薦	1名	1名
2	教士	高木 勉	藤代	H28. 2. 6	【名古屋】 定期中央審査	1名	1名
3	六段	荻谷 純生	水戸桜川	H27. 5.17	【東海地区】 臨時中央審査	1名	5名
4		塚本 重毅	土浦亀城	H27. 8.23	【鹿児島】 特別教員臨時審査	1名	
5		鈴木 雄之	土浦	H27.10. 4	【関東地区】 臨時中央審査	1名	
6		和泉 武	取手	H27.10.31	【東京】 定期中央審査	1名	
7		大友 実	神栖	H28. 2. 7	【名古屋】 定期中央審査	1名	
8	錬士	鈴木 隆之	北総	H27. 8.23	【鹿児島】 特別教員臨時審査	2名	7名
9		唐澤 章	稲敷市				
10		上田 有香	神栖	H27.11. 8	【東海地区】 錬士臨時中央審査	1名	
11		宇佐美 章	東海	H27.11.15	【関東地区】 錬士臨時中央審査	1名	
12		宮下文子	勝田	H27.12.19	【東京】 特別臨時中央審査	2名	
13		中野紀子	水戸				
14		財津昌子	日立市中央	H28. 3.19	【四国地区】 臨時中央審査	1名	
合 計							14名

平成27年度 連合審査会 合格者

No	取得	氏名	所属	取得日	審査場所	審査合計	区分計
1	五段	新川 広毅	神栖	H27. 5.31	【東京都】 関東地域連合審査	2名	16名
2		山崎 大地	筑波医学				
3		佐藤 唯一	湊	H27. 6.14	【高崎市】 関東地域連合審査	2名	
4		河内 史彦	筑西五所宮				
5		荒川 かつ子	日立市	H27. 7.26	【千葉市】 関東地域連合審査	1名	
6		高橋 政行	北茨城	H27. 9.21	【宇都宮】 関東地域連合審査	1名	
7		渡辺 博	湊	H27.10.11	【取手市】 関東地域連合審査	5名	
8		佐藤 敬子	湊				
9		野口 朋之	稲敷市				
10		石川 直人	神栖				
11		大森 陽平	蒼藤会	H27.11.22	【東京都】 関東地域連合審査	1名	
12		小沼 隆史	霞ヶ浦				
13		飯山 貴与子	取手	H28. 2.21	【東京都】 関東地域連合審査	4名	
14		橋本 真樹	土浦亀城				
15		相原 利恵	稲敷市				
16		高柳 雄大	筑波医学				
合 計							16名